

## 学校関係者評価委員会開催資料

学校法人北海道安達学園  
札幌マンガ・アニメ＆声優専門学校

開催日：2026年2月27日（金）13：00～14：30

出席委員：外部側関係者（業界団体関係者2名、企業関係者3名、姉妹校卒業生1名）

学校側関係者（理事長、学校長、学校長代理、事務局長、副校長、教務部長代理）

### 2025年度自己評価&学校関係者評価シート

札幌マンガ・アニメ＆声優専門学校

#### 1、教育理念・目標、人材育成

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、  
やや不適切・・・2、不適切・・・1

評価項目		自己評価	関係者評価
1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	4	4
1-2	学校の特色は何か	4	4
1-3	学校の将来構想を抱いているか	4	4
評価項目総括	学校法人北海道安達学園では、3つの教育方針である「基礎知識・技術の習得」「専門知識・技術の習得」「社会性の習得」に基づき、学園使命である、教育事業を通じて、社会に貢献する人材の育成に努めています。また、総合専門学校という特徴を活かし、多様性のある環境から生まれる新しい発見を学生たちの“やる気”につなげ、学生たちが“なりたい自分になる”ためのサポートを行っていきます。実践指導の中で技術力、創造力、コミュニケーション力を養い、即戦力となりえる優秀なクリエイター、ビジネスパーソンを育てて行くこととしています。 業界関係者・保護者等への周知については、ホームページ等で周知を図っている。		
各評価委員からの意見や課題	マンガ、イラスト、アニメ、声優、アニソン、スタッフ専攻の充実と即戦力となりえるクリエイターの人材育成に努める。		
今後の改善方策	業界や教育課程編成委員等との連携を強化して、即戦力となる人材育成のため、各専攻分野の業界プロから学び、業界の変化に対応した授業運営と最新の知識と技術の導入を図る。		

#### 2、学校運営

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、  
やや不適切・・・2、不適切・・・1

評価項目		自己評価	関係者評価
2-1	運営方針は定められているか	4	4
2-2	事業計画は定められているか	4	4
2-3	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	4	4
2-4	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	4	4
2-5	意思決定システムは確立されているか	4	4
2-6	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	3
評価項目総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営方針は、事業計画にまとめ、毎年作成している。事業計画は、法人理事会の承認を得て、幹部運営会を経由し周知を図っている。</li> <li>・運営組織は、組織図に全教職員を組織上に位置づけ、幹部会議、校務会会議、職員会議を通じて意思決定システムを構築している。</li> <li>・人事、給与に関する規定については、法人総務部で一括整備・管理を行っている。賃金の決定は、業務査定・業績査定に応じ行われている。</li> <li>・業務アナログ作業のデジタル化へ随時効率化を図る。</li> </ul>		
各評価委員からの意見や課題	業務のアナログ作業をデジタル化へ進め、業務の効率化を図る。		
今後の改善方策	業務の見直し強化。来年度は、出席簿をタブレットシートで管理し出席管理の効率化を図る。また、指導日報なども紙からデジタル化へ随時進める予定。		

### 3、教育活動

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
3-1	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられている	4	4
3-2	修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	4	4
3-3	カリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
3-4	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	4	4
3-5	キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	4	4
3-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4
3-7	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
3-8	教員の専門性を向上させる研修を行っているか	4	4
3-9	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	4
3-10	資格取得の指導体制はあるか	4	4
評価項目総括	基礎からプロレベルの技術・知識を学ぶことで、時代に左右されない、高度な表現を持った人材を育成。また、社会人としての知識とマナーの構築を図り、日本の文化とも言えるマンガ・イラスト・アニメ・声優業界への人材輩出を目指す。また、2026年度より学校教育法等の改正に伴い、単位制となるカリキュラムの構築を図り、より充実した教育体制で人材輩出を目指す。		
各評価委員からの意見や課題	2026年度より学校教育法等の改正に伴い、単位制となることから、今まで以上の質の高い教育体制を整え、更なる業界への人材輩出の体制を構築することが必要。		
今後の改善方策	シラバスや授業評価などの改善を図る。また、教育課程編成委員会の助言や企業、業界プロとの産学連携を強化し、より実践的なカリキュラムの取り組みを進める。		

### 4、教育成果

		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	
評価項目		自己評価	関係者評価
4-1	就職率（卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているか	3	3
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4	4
4-3	退学率の低減が図られているか	3	3
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	4
評価項目総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職は、キャリアセンタースタッフとクラス担任によるサポートを行います。また、就職対策授業や学生面談などにより就職意識の向上を図っている。</li> <li>・退学、休学、不登校の対策に関連して、現行の学生に対するさらなる授業内容・指導方法の改善と個別のケアや支援を図っている。</li> </ul>		
各評価委員からの意見や課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門就職率アップの強化。</li> <li>・精神的な病気の理由や授業やクラスについていけない、学費の問題などの退学が目立ち、退学の低減を図るため、学生を細かく把握すること、学生のやる気を引き出す強化が必要。</li> </ul>		
今後の改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職活動状況や学生個々のスキルを担任とキャリアセンターが共有し、専門就職の向上を図る。また専門就職への意識付けを1年生から早期指導の強化を図り、企業説明会の機会を増やし、作品（ポートフォリオ）の見て貰う機会も増やしていく。また、専門就職先企業の開拓の強化。</li> <li>・問題に対して早めに動き、学生個別フォローの強化を図り、課題制作などをレベルに合わせた対応でやる気や出席率の向上と、学生、担任、保護者の共有化、三者の連携を強化していく。</li> </ul>		

## 5、学生支援

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、  
やや不適切・・・2、不適切・・・1

評価項目		自己評価	関係者評価
5-1	就職関する体制は整備されているか	4	4
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
5-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	4
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
5-6	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
5-7	保護者と適切に連携しているか	4	4
5-8	卒業生への支援体制はあるか	4	4
評価項目総括	各学科の就職先、担当付き、専門職、声優養成所など、様々な対応を把握し、今年度も積極的に対面やオンラインでの会社説明会や作品添削、オーディションを行い、活動範囲を広げる。生活面などはクラス担任による学生の生活状況の把握と保護者との連携を行っている。		
各評価委員からの意見や課題	精神的問題を持つ学生やアルバイトと学校の両立で生活リズムを崩す学生が増え、退学に繋がるケースがあるため、担任による学生の生活状況をより速やかに把握し、保護者との連携のより一層の強化が必要。		
今後の改善方策	担任による個別面談や担任・学生・保護者の連絡を密にして、更なる連携と学生の状況把握に務め、早めの対応を心掛ける。		

## 6、教育環境

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、  
やや不適切・・・2、不適切・・・1

評価項目		自己評価	関係者評価
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
6-2	学科実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
6-3	防災に対する体制は整備されているか	4	4
評価項目総括	学内施設・設備は、実際の現場で使用されている設備を整えるため、毎年見直しを行い、プロと同じ設備にこだわっている。学外実習、インターンシップは十分な教育体制を整備している。防災訓練は、避難方法等を指示して実施をしている。		
各評価委員からの意見や課題	アニメーション学科のPCが古くなりスペックが低くなり、メモリが足りなく動作が遅くフリーズしてしまうことがあり初期化を繰り返している。		
今後の改善方策	特に支障が出ているPCを今年度中に入替予定。		

## 7、学生の募集と受け入れ

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、  
やや不適切・・・2、不適切・・・1

評価項目		自己評価	関係者評価
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	4
7-2	学生募集において教育成果は正確に伝えられているか	4	4
7-3	入学専攻は適性かつ公平な基準に基づき行われているか	4	4
7-4	学納金は妥当なものとなっているか	4	4
評価項目総括	本校は、北海道私立専修学校各種学校連合会の加盟校であり、連合会の定めたルールに基づいた募集時期・内容を遵守している。また、入学案内、募集要項、ホームページ等の通り、適正に募集活動は行われており、学納金及び教科書・教材費等は毎年見直しを行い、適正かつ妥当であると思う。入学選考方法も募集要項の通り、適正かつ公正な基準をもとに実施している。		
各評価委員からの意見や課題	就職・デビュー（マンガ、イラストレーター、アニメーター、声優分野）を目指す高校生の保護者等のより一層の理解向上が必要。また、競合校と比較検討することがあるため、学科・専攻の特色や更なる本校の魅力アップを図りたい。		
今後の改善方策	高校生に保護者説明会への参加や保護者を説得させる情報提供（専門就職やデビューの向上、授業内容の見直し）の強化を図る。また、情報のライブ的な拡散と卒業生の活躍、授業内容、就職実績などをホームページ、パンフレット、SNSでアピールし訴求強化を図る。		

## 8、財務

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、  
やや不適切・・・2、不適切・・・1

評価項目		自己評価	関係者評価
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
評価項目総括	財務は学校運営の重要な一つである。事業計画を基に中長期の展望を見据え、収支予算計画を作成する。学校、理事会、評議員会と複数の目によるチェック体制のもと、より現実的な予算編成となっている。会計監査は、監事による監査及び公認会計士による監査を実施、計算書類は適正である旨の監査報告書をいただいている。 財務情報の公開体制については、組織的に取り組んでいる。		
各評価委員からの意見や課題	特にありません		
今後の改善方策	特にありません		

## 9、法令等の遵守

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、  
やや不適切・・・2、不適切・・・1

評価項目		自己評価	関係者評価
9-1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
9-2	個人情報に監視、その保護のための対策がとられているか	4	4
9-3	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	4
9-4	自己点検・自己評価結果を公開しているか	4	4
評価項目総括	法令や設置基準等に従い適正に運営を行っている。自己点検・自己評価の結果について公開を速やかに行っている。		
各評価委員からの意見や課題	特にありません		
今後の改善方策	特にありません		

## 10、国際交流

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、  
やや不適切・・・2、不適切・・・1

評価項目		自己評価	関係者評価
10-1	グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか	4	4
評価項目総括	日本の文化であるマンガ・アニメを通じ、アジアをはじめ様々な国と似顔絵交流を図っている。		
各評価委員からの意見や課題	課題は特にありません。昨年度はアメリカマサチューセッツ州ミルトンアカデミー学生との似顔絵交流会を実施。今年度は藤女子大学の留学生（中国3名、台湾2名）と似顔絵交流会を実施。また、日本国際協力センターの南アジア（インド、パキスタン、バングラデシュ、スリランカ、ネパールなど）を中心としたさまざまな国の学生と、マンガ・アニメを通じたオンライン学校交流を行いました。		
今後の改善方策	今後も受け入れ態勢を整えて行く。		

### ■今後の取り組みについて

各評価項目について、各評価関係者からの意見や課題を踏まえ、今後の改善方策等を計画的に検討し実施して行くことを学校関係者評価委員一同確認し、教育体制を強化していく。  
また、教育課程編成委員会とも連携し教育体制の強化を図る。